

名譽新談

近藤 勇

武道に於ては諸人のゆかしき
 英傑あり始に西京にありて
 壬生組の浪士なりしが慶應四
 年の春関東へ下向して新撰組
 の隊長となり脱走して東府の近
 郷に屢々跋扈し勇名を裏に
 就中甲府より其の挙動共國中
 是共小勢ありて更を果さず後有
 志と募らんと北総に到り流山に
 獨行するより多勢に困まれ虜と
 なり板橋陣営に引と巢鴨庚申
 塚の露と消る

松林伯因述



大橋守軍